

男性へのHPVワクチン接種について

目黒区では、2024年4月から男性へのHPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチン接種費用の助成事業が開始されています。



HPVワクチンは、これまで女性（小学6年生から高校1年生相当）を対象として定期接種が行われてきましたが、2020年12月から男性（9歳以上）にも任意接種として4価HPVワクチンの接種が認められるようになりました。男性がワクチンを接種することで、HPVが原因となる中咽頭がん、肛門がん、尖圭コンジローマなどの予防に効果が期待できます。加えて、性交渉によるHPV感染から女性を守り、ひいては子宮頸がんの予防にもつながります。

男性のHPVワクチン接種【任意接種】

| | |
|----------------------|--|
| 接種対象者 | 9歳以上の男性 |
| ワクチン | 男性に接種できるHPVワクチンは4価HPVワクチン（ガーダシル®）のみ |
| 接種方法 標準的な接種スケジュール | 1回0.5mlを合計3回、筋肉内に注射します。 2か月の間隔をおいて2回注射した後、1回目の注射から6か月の間隔をおいて3回目を注射する。  |
| 接種費用 | <ul style="list-style-type: none">● 1回 18,700円（税込） / 3回合計 56,100円（税込） 男性への接種は定期接種でないため、全額自己負担となります。 ※医療機関によって費用は異なります。 目黒区の費用助成事業について 助成の対象者は、目黒区内に住民登録がある小学6年生から高校1年生相当の男性です。対象者一人につき3回（接種完了）まで接種費用が全額助成されます。 ※自治体によって接種費用の助成の有無・助成額が異なります。 詳細は、お住まいの自治体にご確認ください。 |

*当院で接種を希望される方は、電話（03-5731-3565）でご予約ください。

自由が丘メディカルプラザ 小児科

2024年3月25日
日本小児科学会認定専門医
日本感染症学会専門医
齋藤 義弘

